



平成30年12月20日  
海上保安庁

### 第3回『荒天時の走錨等に起因する事故の再発防止に係る有識者検討会』開催

海上保安庁では、有識者及び海事関係者等による検討会を設置し、荒天時の走錨等により重要施設に甚大な被害をもたらすような事故の再発防止について検討しています。第3回検討会では、荒天時の走錨等に起因する事故の再発防止についての中間報告（案）等について検討します。

#### 1. 目的

平成30年9月4日、台風21号が大阪湾付近を通過した際、荒天を避けるために錨泊していたタンカーが走錨し、関西国際空港連絡橋に衝突したことにより、同空港へのアクセスが制限されるなど、人流・物流等に甚大な影響が発生しました。

このため、海上保安庁としましては、有識者及び海事関係者等による検討会を設置し、荒天時の走錨等により、重要施設に甚大な被害をもたらすような事故の再発を防止するために必要な事項について検討します。

#### 2. 検討会メンバー

別紙1参照

#### 3. 第3回検討会

日時 平成30年12月25日（火） 14:00～16:00

場所 中央合同庁舎3号館10階共用会議室A

議事

- (1) 事務局からの説明
- (2) 中間報告（案）について
- (3) その他

## 荒天時の走錨等に起因する事故の再発防止

## に係る有識者検討会委員・専門委員名簿

(敬称略 五十音順、◎座長、○副座長)

## 1 委員

- ◎河野 <sup>かわの</sup>まりこ 真理子 早稲田大学法学学術院教授
- 北川 <sup>きたがわ</sup>かよこ 佳世子 早稲田大学大学院法務研究科教授
- 木場 <sup>きば</sup>ひろこ 弘子 キヤスター、千葉大学客員教授
- 庄司 <sup>しょうじ</sup>るり 東京海洋大学大学院学術研究院教授
- 日當 <sup>ひなた</sup>ひろよし 博喜 海上保安大学校名誉教授
- 若林 <sup>わかばやし</sup>のぶかず 伸和 神戸大学大学院海事科学研究科教授

## 2 専門委員

- 石橋 <sup>いしばし</sup>たけし 武 日本水先人会連合会会長
- 大久保 <sup>おおくぼ</sup>やすひろ 安広 (公社) 日本海難防止協会専務理事
- 大森 <sup>おおもり</sup>あきら 彰 (一社) 日本船主協会常務理事
- 大森 <sup>おおもり</sup>としひろ 敏弘 全国漁業協同組合連合会常務理事
- 葛西 <sup>かさい</sup>ひろき 弘樹 (一社) 日本船長協会会長
- 佐々木 <sup>ささき</sup>ともかず 智和 (一社) 日本旅客船協会安全対策検討委員会委員
- 立川 <sup>たちかわ</sup>ひろゆき 博行 全日本海員組合中央執行委員
- 内藤 <sup>ないとう</sup>よしき 吉起 日本内航海運組合総連合会理事
- 水上 <sup>みずかみ</sup>じゅんいち 純一 新関西国際空港株式会社技術・安全部長
- 村瀬 <sup>むらせ</sup>ちさと 千里 外国船舶協会専務理事